

報道関係各位

みんなが暮らしやすいまちづくりを目指して

京都済生会病院と株式会社ワコールが インクルーシブなまちづくりに向けた連携協定を締結



社会福祉法人^{恩賜財団}京都済生会病院（以下「京都済生会病院」）では、「出産」から「みとり」まで暮らしに寄り添う病院を目指して、ソーシャルインクルージョン活動にも注力し、誰も取り残さないまちづくりに取り組んできました。

これまで、京都済生会病院と株式会社ワコール（以下「ワコール」）は、病院イベントの出展など協力関係を構築してきました。今後更なる連携により、相互のリソースを活用して社会課題解決に取り組み、ワコールの「ゆりかごからゆりいすまで」、京都済生会病院の「出産からみとりまで」、全ての人が地域で暮らすためのまちづくりを目指して、連携協定を締結します。

1. 連携協定締結式

- (1) 日時 2024 年 9 月 9 日（月）午後 3 時～午後 3 時 30 分
- (2) 場所 京都済生会病院 1 階なでしこホール
（〒617-8617 京都府長岡京市下海印寺下内田 101 番地）
- (3) 出席者 株式会社ワコール 関口 満 取締役執行役員 商品本部長 他
京都済生会病院 吉田 憲正 支部長・院長 他
- (4) 次第
 - 1) 協定の趣旨説明
 - 2) 協定書交換
 - 3) 挨拶（京都済生会病院・ワコール）
 - 4) ワコールから災害備蓄品（AnyAny インナー）等の贈呈
 - 5) 写真撮影

質の高い医療・思いやりの心・明るい職場 ～医療を通して地域に貢献～

2. 連携内容

- (1) 健康増進、健康啓発、健康教育に関する取り組み
- (2) 子ども、高齢者、障がい者などの抱える社会課題解決に向けた取り組み
- (3) 全ての人が地域で暮らすためのまちづくりに向けた取り組み
- (4) イベント開催、情報発信に関する取り組み

京都済生会病院の済生会フェアに出展。助産師とコラボし命の授業と下着選びの講演会の実施など。

- (5) 災害対策に関する取り組み

協定書締結を記念して、災害拠点病院でもある京都済生会病院にワコールから、災害備蓄品として使いきりインナー「AnyAny インナー」が提供されます。

AnyAny インナー

災害時や入院時などの備えに。紙素材と不織布を使用した1回着用の使いきりインナー。能登半島地震の際、被災地の自治体・支援団体等に対しての物資支援のひとつとして無償提供したアイテム。洗濯ができない状況下、SNS等では“衛生的で快適”とお声を頂戴しました。男性用のリクエストにお応えして2024年9月に「AnyAny FOR MEN」としてメンズ用使いきりパンツ(5枚セット)が発売されます。



- (6) その他、目的を達成するために必要な取り組み

京都済生会病院について（病床数 288 床・26 診療科）

京都済生会病院は、1929 年 7 月に京都市北区に済生会京都府病院として開院し、今年で創立 95 周年を迎えました。1983 年 7 月に京都府長岡京市に移転、2022 年 6 月に同市内の西南に「京都済生会病院」と名称を改め、新築移転しました。

当院は人口約 15 万人の京都府乙訓地域（長岡京市、向日市、大山崎町）において主に急性期医療を提供する基幹病院であり、唯一の公的医療機関として、地域医療に貢献してきました。「出産」から「みとり」まで暮らしに寄り添う病院としてまちづくりに取り組んでいます。

ワコールについて

画一的な外見美ではなく、内面も含めた自分らしさの実現をお手伝いし、世界中のあらゆる人々の豊かな生活に貢献することが、ワコールグループの社会的使命「ミッション」です。この「ミッション」ならびに、70 年を超える歴史の中で受け継いできた「創業の精神」をよりどころとして、すべてのステークホルダーとの「相互信頼」の関係を構築することで、社会になくってはならない存在を目指していきます。

取材申し込み・本件に関する問い合わせ

社会福祉法人 恩賜財団 京都済生会病院

〒617-8617 京都府長岡京市下海印寺下内田 101 番地

電話：075-955-0111（代） FAX：075-954-8255

WEB：<https://www.kyoto.saiseikai.or.jp/>

《広報担当》経営企画課 企画広報室長 松岡志穂

s.matsuoka@kyoto.saiseikai.or.jp



質の高い医療・思いやりの心・明るい職場 ～医療を通して地域に貢献～